

エコアクション 21

環境経営レポート

2022 年度

(2022 年 9 月 1 日～2023 年 8 月 31 日)



岩山産業株式会社

2023 年 11 月 1 日発行

目 次

1.	会社概要	P.3
2.	環境経営方針	P.5
3.	環境経営目標	P.6
4.	環境経営計画	P.7
5.	実施体制	P.8
6.	環境活動の実績・取組結果とその評価及び次年度の取組	P.9
7.	環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟の有無	P.10
8.	代表者による全体の評価と見直し・指示	P.11

1. 会社概要

事業所名： 岩山産業株式会社

代表者： 代表取締役 岩屋 憲二

所在地： **【本社】**

〒807-1301 福岡県鞍手郡鞍手町猪倉 364 番地

TEL：0949-28-9901 FAX:0949-28-9903

【黒崎事業所】

〒806-0004 福岡県北九州市八幡西区黒崎城石 1-2

三菱ケミカル(株)福岡事業所内

【丸亀事業所】

〒763-8516 香川県丸亀市蓬萊町 8 番地

三菱電機(株)受配電システム製作所内

TEL：0877-35-7360

【坂出事業所】

〒762-0064 香川県坂出市番ノ洲 1 番地

三菱ケミカル(株)香川事業所内

TEL：0877-46-6189

環境管理責任者： 佐藤 結子 TEL：0949-28-9901

事業内容： 受配電設備の品質管理及び試験調整（三菱電機(株)受配電システム製作所）
機械器具設置工事（エレベーター改修工事）
電気機器修理及び点検（各種、電動機、減速機、ホイスト、クレーン）
上記に付帯する一切の業務
一般派遣業

事業規模： 資本金 2,500 万円 従業員数 80 名、対象事業所（32 名）
売上高 75,000 万円（2020 年度） 対象事業所売上 27,400 万円
73,800 万円（2021 年度） ” 28,300 万円
71,800 万円（2022 年度） ” 30,300 万円

事業年度： 9 月～8 月

主要取引先： 三菱電機株式会社受配電システム製作所
三菱電機エンジニアリング株式会社
三菱電機プラントエンジニアリング株式会社
エムイーシーテクノ株式会社
株式会社日立ビルシステム

➤ 認証・登録の対象範囲

1. 対象事業者名 岩山産業株式会社
2. 対象事業所 本社
3. 対象事業活動 機械器具設置工事（エレベーター改修）、受配電設備試験調査

2. 環境経営方針

基本理念

岩山産業株式会社は、エレベータ保守・改修及び設備メンテナンス業務を通じて、限りある資源の有効利用に努めることで、地球環境を保持し将来へのより良い生活環境を提供する様努めていきます。

基本方針

- 1.環境関連法規さらに関連企業からの要求事項を順守します。
- 2.環境経営方針の実行を確実なものとするため、環境経営方針に則した以下の項目について、目標を設定し、その実行と結果を確認し、継続的な改善を図ります。
 - ①二酸化炭素の排出削減に努めます。
 - ②廃棄物排出量の削減に努めます。
 - ③水使用量の削減に努めます。
 - ④環境に配慮した事業運営の推進に努めます。
- 3.行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に対して積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。
- 4.この環境経営方針は、従業員全員に周知するとともに、広く一般へ公開します。

制定日：2022年9月1日

岩山産業株式会社
代表取締役 岩屋 憲二

3. 環境経営目標

環境目標	単 位	基準年度	目 標		
		2020 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	103,354	102,838 (-0.5%)	102,321 (-1.0%)	101,804 (-1.5%)
電力使用量の削減	kWh	25,873	25,744 (-0.5%)	25,614 (-1.0%)	25,485 (-1.5%)
ガソリン使用量の削減	ℓ	8,869	8,825 (-0.5%)	8,780 (-1.0%)	8,736 (-1.5%)
軽油使用量の削減	ℓ	27,281	27,145 (-0.5%)	27,008 (-1.0%)	26,872 (-1.5%)
一般廃棄物排出量の削減	kg	380	378 (-0.5%)	376 (-1.0%)	374 (-1.5%)
産業廃棄物排出量の削減	kg	6,430	6,398 (-0.5%)	6,366 (-1.0%)	6,334 (-1.5%)
水使用量の削減	m ³	159	158 (-0.5%)	157 (-1.0%)	157 (-1.5%)
事故防止、苦情削減	件	0 件/年	0 件/年	0 件/年	0 件/年
会社周辺の清掃	回	12 回/年	12 回/年	12 回/年	12 回/年

注1. PRTR 該当の化学物質は使用していない。

注2. 電力の二酸化炭素排出係数は 2020 年度九州電力の調整後排出係数 0.479(kg-CO₂/kWh)を使用。

4. 環境経営計画

4.1 二酸化炭素排出量の削減

項目	活動項目	責任者
電気使用量の削減	冷暖房適正温度の厳守（冷房 26℃暖房 20℃）	佐藤
	空調機フィルター清掃・室外機点検	
	サーキュレーターで空気の循環 室内温度の調整	
	使用後のコピー機・プリンターは常に電源OFF	
	昼休み・作業時・残業時の不要な照明の消灯	
	帰宅時にはパソコンの電源OFF	
	ハイブリット車の導入	
燃料使用量の削減	エコドライブ・アイドリングストップの励行	現場責任者
	車両の定期点検の励行、建機未使用時エンジン停止	
	現場移動の乗合いの実施	

4.2 一般廃棄物・産業廃棄物排出量

項目	活動項目	責任者
一般廃棄物の削減	社内共有システムによるペーパーレス化	佐藤
	裏紙利用、封筒の再利用	
産業廃棄物の削減	廃棄物の分別の徹底	現場責任者
	再利用、再資源化によるリサイクルの推進	

4.3 水使用量

項目	活動項目	責任者
水使用量の削減	節水活動の実施	佐藤
	定期的な量水計の確認（1回/週）	

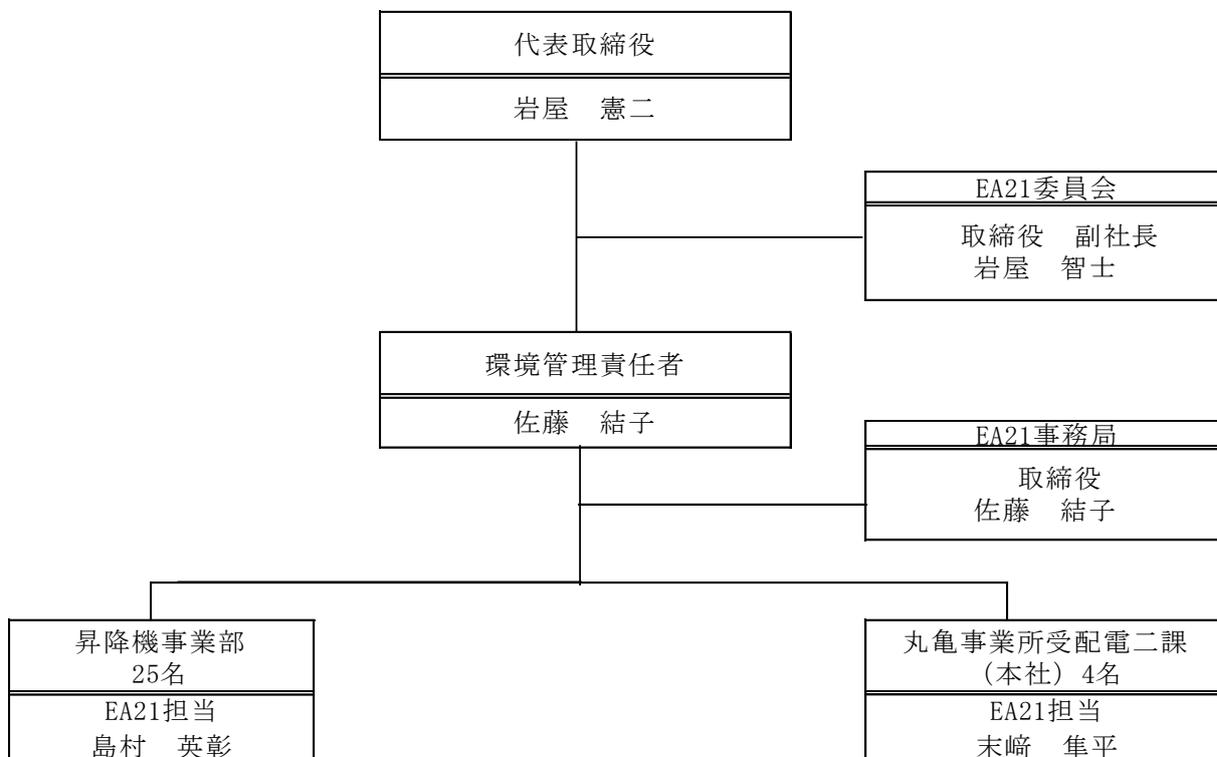
4.4 環境に配慮した工事施工・効率化・地域貢献活動

項目	活動項目	責任者
工事施工の効率化向上 （無事故・無災害）	作業時間の短縮化の推進	現場責任者
	KY 活動・安全パトロールの実施	
騒音・振動の発生抑制	低騒音型建設機械使用の徹底	現場責任者
苦情ゼロの維持	作業工程の工夫など影響の最小限化	
清掃活動	全員参加の実施	佐藤

5. 実施体制

実施体制

作成日	作成者
2022/9/1	佐藤



役割分担表

担当者氏名	活動内容詳細
【代表取締役】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体統括・環境経営方針の制定 ・ 環境への取組を実施する資源の提供、全体の評価と見直し
【環境管理責任者】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の把握、環境経営システムを構築、運用しその状況を社長に報告
【EA21委員会】	<ul style="list-style-type: none"> ・ EA21定例会議（3ヶ月1回）の開催 3ヶ月（1期毎）1回開催し、目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況と結果の審議 ・ 朝礼・安全活動会議での環境活動継続の周知
【EA21事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・ EA21文書及び記録の管理と保管
【各工事責任者】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営の教育 ・ 実施の確認及び報告 ・ 各車両・重機の点検と整備 ・ 緊急事態・防火対応 ・ 各現場の巡回と指導

6. 環境活動の実績・取組結果とその評価及び次年度の取組

6.1 環境経営目標と実績

環境目標	単位	基準年度	2022年度実績			
		2020年度	目標	実績値	対目標比 (%)	達成区分
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	103,354	102,838	108,360	105%	△
	kg-CO ₂ /百万	377.2	375.0	357.6	95%	○
電力使用量の削減	kWh	25,873	25,744	30,876	119%	×
	kWh/百万	94.4	94.0	101.9	108%	△
ガソリン使用量の削減	ℓ	8,869	8,825	10,427	118%	×
	ℓ/百万	32.4	32.2	34.4	106%	△
軽油使用量の削減	ℓ	27,281	27,145	26,890	99%	○
	ℓ/百万	99.6	99.1	88.7	89%	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	380	378	384	101%	△
産業廃棄物排出量の削減	kg	6,430	6,398	4,350	68%	○
水使用量の削減	m ³	159	158	192	121%	×
自らが提供するサービスの改善 事故防止、苦情削減	件	0件/年	0件/年	0件/年	100%	○
会社周辺の清掃	回	12回/年	12回/年	12回/年	100%	○

注1. PRTR 該当の化学物質は使用していない。

注2. 電力の二酸化炭素排出係数は 2020 年度九州電力の調整後排出係数 0.479(kg-CO₂/kWh)を使用。

注3. 対目標比 ○：100%以下、△：110%以下、×：110%より大

6.2 環境活動の実績・取組結果とその評価及び次年度の取組

(1) 二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量は、前年度と比較して減少はしたが目標値に達することはできなかった。要因としては車両不足により代車としてガソリン車を使用することが増えガソリン使用量が増加したことと考える。

また、電力に関しては10月初旬まで暑さが続き7月～9月までは温度設定を低く設定しての長時間使用が要因で電力の増加につながった。一方少しでも緩和できないかを考え室外機の保護、打ち水等実施は行った。今後も、今期活動の継続的な取組み行うとともに、意見を出し合い目標値に向けて取り組む。

(2) 廃棄物排出量

一般廃棄物の排出量は、ほぼ目標達成となった。今後もエコ製品などを積極的に取り入れ少しでも削減できるよう社内での意識向上を高めていきたい。

産業廃棄物の排出量は、はるかに目標を下回る結果となった。近くのリサイクル場所に持っていくなど廃棄物の分別の徹底、再利用、再資源化によるリサイクルを推進、環境への取組において従業員の意識も醸成しつつある。今後も、今期活動の継続的な取組み行うとともに、目標の達成に向けて活動を行う。

(3) 水使用量

水使用量は、目標を大幅に上回る結果となった。給湯器より漏洩があり、気づくのが遅れたことが要因である。今後は、量水計を定期的に確認し、配管等からの漏洩等を早期に感知するよう取組を進めるようにした。環境への取組において従業員の意識も醸成しつつある。今後も、今期活動の継続的な取組み行うとともに、目標の達成に向けて活動を行う。

(4) 環境に配慮した工事施工・効率化

期間中、工事現場において事故及び苦情は発生しなかった。①KY活動・安全パトロールの実施、低騒音型建設機械使用など、今期活動の継続的な取組み行う。

(5) 地域貢献活動

本社事務所の敷地内及び周辺の清掃活動を1回/月行った。今後も励行する。

7. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規等は次の通りです。

・廃棄物処理法　・消防法　・フロン排出抑制法

それらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘、利益関係者からの訴訟等もありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

全体の評価として、仕事量に応じて各項目に変動は生じるが、二酸化炭素の削減、廃棄物の削減、水使用量の削減等に向けて従業員一人一人が積極的に環境活動への取組を行った。

昨年と比較して社用車を利用する県外や遠方等の工事量が増加し、今回も燃料使用量が増加したが二酸化炭素排出量がほぼ達成できた。産業廃棄物は目標達成し、今後も意識を高め継続していく。

また、水は給湯器からの漏洩により目標未達となったが、環境への取組により認識できたことは、効果として認められる。

全体結果として各項目で昨年より目標達成率を上げることができ、環境への取組への意識が従業員一人一人に醸成できた。

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び水使用量などについて、今後も引き続き全社で環境活動への自覚を持って行動し、環境経営を推進していきたい。